京城新報

●新聞料 ▲一部一錢五厘 ▲一ヶ月 ▲三ヶ月 ▲六ヶ月 前金
●廣告料 ▲活字一行 十五錢
●陰曆 十一月廿四日
發行兼編輯人　印刷人　山下英爾
發行所　京城新報社

覆面を脱げる日本

本篇は英人マッケンチー氏の所述にして「貿易」より轉載したるもの也

▲戰爭の祝福●●● 先の日露戰爭は說明には之れあらざりき、否商業上の日本には頗る祝福を與へたりき試に想へ今茲に死に瀕するが如き窮乏の一國ありとせむ（若し貧富を貨幣に依て計るとせば）産業は資本の欠乏と需要者無の爲めに萎微して振はず外國の資本家亦其國法の制限あるが爲めに容易に投資するを肯せざる境遇に於て日本が戰爭前其の產業に必要する公債を倫敦市場に於て容易に募集し得ざりしは猶今日波蘭の紡績業者が爲し能はざるが如くなりしならむ

▲勝利と外債成立 斯くて一九〇四年の勝利は來れり世界の財囊は其袋を緩め來り幾千萬磅の金は日本に注入され東京に於て募集せられたる日本公債の幾部亦直に海外に於て購せらるゝ事となれり從來生活にさへ困難を感じたりし日本の製造業者は俄然政府の注文に應ずる爲め日夜作業に從ふこととなり賃銀は騰貴し來れり而かも此等は概ね外國の資金が之を拂へるものにして實に戰費の八割五分は公債に依りて支辨せられ其の主要なる部分は日本に於て消費せられたるなり

▲大景氣の繼續●●● 戰爭終局を告ぐる後と雖も日本の榮華は繼續せられ昨年英米の資本家は自ら日本を訪ひ又は代理者を派して投資の方途を索めしめたり、されど日本に於ては外國人の企業及び資本に對する幾多の制限あるが爲め其の多くは手を引きたるも外國資本の可なるが輸入せられたるより日本の大景氣は依然として持續せられたりされど今や此の外資の注入は殆ど沙汰止となれり蓋し歐米の大資本家は其資本を投せる事業に向て管理權を得むとし猶其の利益の大部分を獲むと欲するに日本は自衞上之を拒絕したり日本に於ける外國人は普通の狀態に於て六分の利を得るは容易にして若し多少の危險を冒さむか更に多くの利息を得るならむと誰も滊船鐵道又は鑛山といふが如き最の有利の事業に對しては株券だも所有することを能はず唯共同せる日本の意の儘に坐視傍觀せざるを得ざるなり斯の如くにして日本の投機的商界は漸次其步を進めて今や殆ど重大なる國民的危難を釀さんとする迄の極度に逕し賭博熱は全國に普く波及し大市街には新なる生活狀態を發生し人民は前代未聞の生活を爲すに及べり、貧しき番頭も其の妻に與へ得ずともせめては其兒童には洋服を着せしむるなり其の家族には到底あてがひ得べくもあらぬ收入に苦しむ手代も自らは牛乳を飲まむとするなり新會社は殆ど一時間每に創立せられ、電氣事業工場、造船工場及び銀行業等の新設到る處に傳へらる此等戰爭終局後に創立せられたる新事業の資本總額は幾億圓を以て計算せらるゝも本來此國の資金は猶甚だ缺乏しつゝあるなり、是れ驚くべきの現象にあらずや既に會社の株券は五割乃至十割に奔騰し所謂成金黨なるものゝ續出となり昨日の商人は今日の男爵と變じ來れり、日本のジョン、モーレーたる大隈伯は絕叫して今の日本人民は各種新事業の爲めに自ら苦しまむとする者なりと唱へぬ、而かも血氣の日本青年は只唯富まむが爲めの大望もて猶進みつゝあるなり。

▲日本の勞銀●●●● 日本の勞銀は近來昇騰したりとは云へ猶不合理にも低廉なり若年者は往々無給にて勤務することあり婦人の室內にて賃仕事する者は一個月三圓五十錢を得ば足れりとし工場に在る者亦一日十錢を得るに過ぎず一日五十五錢は頗る熟練せる職工の得る所にして余が目睹せる所に依れば某工場の傭主は其の機關係に一日一圓を支拂ふを以て相場以外の給料なりとせり巡査は一個月八圓より始めて十二圓に及び時として一週五圓を貪給さるゝことあり而かも此く薄給なるに拘はらず彼は外國より受賄を許されざる也、若し彼に其勞に酬ゆんが爲めに一二圓金を贈らむか是れ彼に災厄を與ふるに均しきなり官省の書記の給料は十五圓又裁判官は年俸五百圓を以て其の初級となす

▲貧民窟と飲酒癖●●●● 此の如き俸給の低廉なる事も五年前には左程に劇烈の苦痛を與へざりき東京人は曾て一貧民窟を有せずさて誇稱したりき、されど年を積み歲を重ねる每に此言の事實ならざるを證し來り彼の歐洲各市の如く漸次貧民問題を講せざるべからざるに及び來れり但東京は倫敦ラーチス河畔の貧民と同一視すべからずして不潔なることと及び恐るべきことと未だ之と其率を同じふせざるなり蓋し東京にては一週六片の俸給に過ぎざる巡査猶巧みに一家族を維持し得るを以て浮浪漢の一軍團を爲すが必要を見ざるなり然も日本貧民の婦人間に飲酒癖なきこと是れ最も注目すべき事なり勿論アルコール問題は日本に於ても遠からずして重要なる講究案件の一たるべく既に飲酒の害毒は社會に實現しつゝあり唯勞働婦人は未だ深く此惡習に感染せざるのみ。

石油稅と當業者

石油消費稅に就ては石油產地たる北越地方當業者の猛烈一方ならず二の代表者は大藏當局者に面會して反對の理由及び課稅の法則當を得ざる事に關し陳情する所ありたり其の反對意見といふは第一

▲內國採油業の萎靡●●●● なり、即ち我が採油業は現に鑛區稅、鑛產稅を附課せらるゝの外他の商工業と同じく多大の營業稅を負ふ是を以て幼稚なる我が採油業は充分の發達を爲す能はず今日一石につき一圓の新設消費稅を附課すとも僅に四十八萬餘圓の實收入を得るに止まれり而して現稅に於てさへ相當の利益を收むる能はざるより我が二三の大石油業は內地採油を廢めて外國より石油を輸入し之を販賣するを有利と爲しつゝある實況に付萬一消費稅を實施するに至らば內地採油業者は全く其營業を廢止するの止むなきに至るべし、第二

▲消費稅附課の豫算●●●● として燈油一石に對し金一圓附課の豫算なるが如きも凡そ石油原油は最良四十五度、最惡十五を程度とし鑛區によりて其性を異にす製油亦た然り、之に對し不均一圓課稅をなすは課稅の公平を缺くものと言はざるべからず、特に近來

▲狡猾なる外國石油商●●●● は無稅原油に製油を混じ原油の名稱の下に五割の關稅を免れ輸入の後之を分離して大部分を製油となし巨利を占めつゝある有樣なるを以て消費稅實施の上は內國石油の外油に壓倒せらるゝこと更に今日より甚だしかるべし、故に若し政府にして財政上是非共消費稅を實施せんと欲せば總ての石油に對し酒精稅法の如く度數課稅法を採用し一度につき何錢を課するときは課稅の公平は勿論奸商の輸入石油取締に關しても自由の制裁を加ふるを得べしといふに在り

貿易商況（一）

仁川第三期（自七月至九月）

總況

本季間に於ける當外國貿易の情勢如左

貨物	輸入	四、五〇八、三五六
	輸出	七一六、八九〇
	再輸出	七八三、〇五一
	計	六、〇〇八、二九七
純輸出額		五、二三五、二四六
貨幣金銀地金	輸入	四七二、五六〇
	輸出	一、一九三、二九九
	計	一、六六四、八四九

前記輸出入の國別並に前年同季との對照は左の如し

	當季	前年同季
輸入（外國產貨物）		
日本より	一、九六六、一九三	二、〇三一、八〇四
英國より	一、〇九六、七九一	三三九、九五五
米國より	七六七、九三五	六六四、七九二
支那より	六〇五、六五八	八五八、七七〇
獨逸より	三六六、六二〇	—
佛國より	七、四九六	—
露國より	二、九九九	—
諸威より	二、三三九	—
其他より	七、三七三	—
計	四、五〇八、三五六	三、五八一、三〇六
輸出（韓國產貨物）		
日本へ	四二三、六五七	一九〇、六一八
支那へ	二九三、二三三	一二二、三五六
計	七一六、八九〇	三一二、九七四
再輸出（外國產貨物）		
日本へ	四四七、八七五	五二一、四三一
露國へ	—	一三三、〇九九
支那へ	三三二、一七六	七五、六〇〇
計	七八三、〇五一	二六三、一三〇
金銀及貨幣輸出入		
日本より	四六七、四二〇	四四、四〇九
支那より	五、一四〇	八〇七、一七三
計	四七二、五六〇	八五一、五八二
日本へ	一、〇三〇、二二一	八二〇、二〇〇
支那へ	一六二、〇七八	一〇二、二二〇
計	一、一九二、二九九	九二二、四二〇

前記の對照に依るときは當季の輸入貿易は前年同季に比して九十二萬七千餘圓輸出に於て四十八萬四千餘圓再輸出に於て五十一萬九千餘圓金銀地金及貨幣の輸出に於て二十七萬八千餘圓を增加せり尙ほ其國別に於ける增加の數額を示さば輸入に於て英國は百〇九万一千三百餘圓米國は七万三千一百餘圓獨逸は三萬六千六百餘圓佛國は七千四百餘圓露國は二千九百五十餘圓諸威は二千三百餘圓其他七千三百餘圓にして日本は三萬七千六百餘圓支那は二十五万三千餘圓を減少せり而して韓國產貨物の輸出に於ては日本は三十萬四千餘圓支那は十八萬〇八百餘圓を增加し外國產貨物の再輸出に於ては日本は三十九萬四千四百餘圓支那は二十五萬九千五百餘圓を增加し露國は十三萬五千餘圓を減少せり金銀及貨幣の輸出に於ては日本は二十一萬九千餘圓支那は五万八千九百餘圓輸入に於ては日本は四十二萬四千餘圓支那に於ては二十一萬八千八百餘圓を增加せり是等增減の原因に付ては各輸出入の部に於て之を明に說明することを得む

輸入貿易

本季間に於ける輸入貿易は四百五十万八千餘圓にして之を前年同季に比較せば百二十壹万五千餘圓を增加せること前總況に之を說けりこは韓國開發の爲或は衣料の上に或は生活の上に或は工業建築等の上に或は道路修築鐵道補修の上に或は鑛山事業の上に或は通信事業の上に漸次其需用を增進するに至りたるものなるべしと雖ども今之れが品種を擧げて前年同季に對照し如何なる品種が其輸入を增進せんかを見ん

品種	當季	前年同季
絹布及綿絲	一、二三九、六〇一	九八九、三九二
絹毛製品	五九、六七〇	一三九、六六九
飲食料品	三九〇、八〇七	三九三、五七六
金屬品	二六一、八二三	二六九、三一七
諸雜品	二、四四九、三二六	一、七六九、三五一
合計	四、五〇八、三五六	三、五八一、三〇六

更に前記の品種を輸入國別に分ちて之を擧示するときは左の如し

國別	當季	前年同季
△絹布及綿絲		
英國	八七〇、九八二	五六五、六四九
支那	三三六、三一九	四二三、七六八
日本	七〇、八三三	—
露國	二、九九九	—
獨逸	一、四一八	—
米國	二〇	六
其他	—	—
合計	一、二三九、六〇一	九八九、三九二
△絹毛製品		
支那	三二、一八七	九九、八九七
日本	二三、七六五	三九、七七一
露國	三、四二七	—
獨逸	二五〇	—
米國	六	—
其他	三五	—
合計	五九、六七〇	一三九、六六九
△飲食料品		
日本	三二一、六一六	三三〇、一四四
支那	二八、六六六	六三、一三〇
米國	三、六七三	—
英國	八、四九五	三三
佛國	六、七六六	—
獨逸	一、六六九	—
其他	三三	—
合計	三九〇、八七七	三九三、五七六
△金屬類		
日本	一四三、四三四	一〇七、四一九
英國	六五、四六三	—
米國	四二、二九五	一六五、七七一
獨逸	五、五八七	—
支那	五、五七五	—
其他	四九九	—
合計	二六一、八二三	二六九、三一七
△諸雜品		
日本	一、四二七、五六四	一、二三三、七八一
米國	七〇一、八九一	五五九、〇〇五
支那	一〇三、九五一	一三、九一七
英國	一六八、四四五	三、六六八
獨逸	[illegible]	—
諸威	四、三三九	—
其他	六、七六六	—
合計	二、四四九、三二六	一、七六九、三五一

間島より

知白生

▲市場開始●●● 龍井村敎會堂の左右二町歩餘の空地をトし統監府派出所開設一ヶ月半の後に於て二七の日を期し開始せられたり右開始の告示を見るや附近淸韓人競ふて土地の買收をなし家屋の建築に着手したるも時候の爲め大槪半成に終へたるも市場は回數を重ねる每に盛大に赴き今日の處先づ間島にては屈指の市場となれり物品は淸韓人嗜好物にして主として彼等の手に於て物々交換せられつゝあり惜むらくは未だ日本人の加入なきなり尤も商人として見るときは淸津稻竹商會京城赤藏商店なるも是等は只御用達の爲め奔走しつゝある而已にして未だ手を展はすの機を得ざる模樣なり

▲飮食店の景況●●●● 不相變何地にても可なりとの定評ある飮食店而已なり料理店三軒藝妓三名酌婦廿四五名每晩れ客說く者なしと云ふ蕎麥屋溫飩屋の如きも可也繁盛せり

▲郵便局●●● 森局長の熟誠なる勉強の結果淸國人にして發信及び爲替を依頼するもの韓國人の貯金等日增し增加の模樣なり遠隔の地とて電報の取扱ひ多き韓國第一なるべしと思惟せらる多分繁務の模樣殊に氣の毒なるは配達夫なり會寧より馬に積み每日郵運搬の勞を取り居れり

▲溫度●● 室外零點下三十五六度通例の氣候なり諸氏御推察あれ憲兵其他外勤者にして南韓同樣の御手當とはちと無理な樣に思はるゝなり

文苑

秋夜　沒名學士

半睡靜聽促織聲。一作能可破愁城。兒思弟。弟思兄。鷄背又作万里程。雁係節近雁先知。金氣入樓冷透肌。母補綻。兒裁詩。一燈不識漏聲移。

麴坊僑居雜吟

殘蝶松影冷。步々役詩魂。攪破牢牛夢。幽香山短垣。收帙無人到。倚欄倦眼冷。唯聞烏雀聲。破却一天青。庭樹蒼々鬱。蟲聲紛似雨。身在山樓。咫尺拜皇城。一陣淸風至。松叡落枕頭。樹深家隱見。難得世間情。洛後獨叫酒。遙聽月下箏。

送人

秋風吹入綠楊枝。何樹旗亭賦別離。新雁一聲渾不管。征帆隨向碧天馳。

秋江垂釣

蔗白蓼紅秋一灣。垂綸默坐興鷗閑。漣猗生處舖舟過。數點青峯隔水山。

訪園外堂

相思常嘆不相逢。歸來第一寄吟筇。相逢未語人斜臥。鳩首無心撫石松。

答白數存濵間近況

却喜病羸一太半。酒情一覺又詩情。門雖不閉客無訪。抱膝閑聽鳥聲。

謁北條鷗所先生墓

遊魂夫向洞中天。金粟之身詩佛仙。何若未成懸吊句。寒鴉鳴叫墓門前。

偶成

世路辛酸經過來。十年俯仰亦奇哉。笑佗醒醉塵中客。高踏乾坤活眼開。未歎浪遊前路長。有山川處覓詩忙。木强世笑吾何敢。畢竟人生夢一場。

海戀（下）

無名氏

「風邪でも御引きですか、」とフット私は云つて仕舞つた、恐い事を云つたと後でくやんだが詮はない、咳も落付いたので男は寂しい笑みを口許に浮ばせて。

「風邪はつはゝ大變な風邪です、島の人間はもう相手にしません、厄病神だ、はつはつ、私を恐がつて逃げるつたら、貴方國地の人だから斯う物も云懸けなさる、併し私の病氣が何だか知ちやないのでせう」

「解りました、併し何もさう自分で卑下なさるやうな……」

「いゝえ駄目です、國地では何うか知りませんが島は島で同じ病氣でも性が違ひますあ、此病氣で助かつた者つたら有やしません、死んだ人の家は直ぐと燒拂つてしまひます、癩病が業病だと云ひますが此れだつて、癩と肺、音は似てますさあ、はつはつ」と高く獨りで笑ひ懸けたが、忽ち又劇しく咳入るのだ、自ら諦めた口のきゝやう身の程し、見るに聞くに氣の毒で何とも云樣なく默つてゐると、突然。

「絕景、御覧なさい、あれと」指示し所んだ、落つる日は今その足を水にひたした所水は燃ね空も燃ねて燒かるゝ雲は赤黑く烟つだ。

「ねえ、此んな景色が又とありますか、佳い、實に佳い、海ですね、海でなくつて此景色が得られませうか、島は海、海に葬むられたいな。」

急轉話は舊へ復つた、はつとして我ならなくに男の方を見返ると、戲れならず眼に熱さへ輝いて。

「實際なぜ人は海に葬むらないんでせう、此んな汚ない泥土に埋葬をするよりか、ずつと美しく神聖ちやありませんか魚の餌食、ミヽズにのたくられるよりや餘程優しだ。」と獨りで鼻で嘲笑つて。

「海に埋めて貰ひたいですね、海に寢てゐれや自然と、あれあの莊嚴な景色の人となれるのです、仙人だはつはつ、氣が利いてるちやありませんか。

此んな此んな。」と墓の一つが近づいて搖かすやうに押へながら。

「墓印が何です、倒れるのもこれもう直きだ、今に土足で踏躙られるんです、否今でさへ犬は小便をしつ懸けるし、貴方のなさつてるやうにそれ、他の屍に敷かれもします。

フ、死んで迄侮辱は受けませんや。」と何だか話に實が入り過ぎた調子、不計私迄が攻撃された工合で仕方なく苦笑してゐると云止んで又劇しく咳入つた、その時遠く方の茂りから姿は見えぬ聲美しく、輕い氣に澱立てゝ大島節。

私しや大島御神火育ち
胸に煙りは絕ゑやせぬ。

咳入る手を止めて、若い男はぢつと聽き耳を澄ましてゐたが忽ち氣付いたさまに何に笑可しいか。

「はつはつはつ」と高笑つた。

數日して後、ある夜、フト私は目醒めた、風の酷い夕べで、濱辺に近い私のゐる家はさながら地震でもあるかのやう、みしみしと音して物凄く打搖れる、起上つて窓の戶を開けた吹入る冷たい風に身震ひしながら、眼ははつきりと海を眺めた、朧げに近い今宵の空、濃く青く斷雲折々に光を隔ぎると下なる海は風に荒びて、山と立つ波、峯はくだけて白く散る散るは眞玉、流るゝは黃金、明滅、金は隱れ玉は黑む幾幻の妙莊大にして凄愴な景色に思はず見惚れて立てゐると、フト見付けたものがある、月とは云へ夜なれば、定かならねど沖をさして一艘の小舟、波に浮び波に隱れて行くと見た今頃何の用と訝り思つたも暫し、直きに見へなくなつた跡は又荒ぶる波に月の影。

夜明けて風は全く靜つた、打寄する浪も朝日の影には漣さへ寄せてゐる、朝日きらきらかな濱の平和を時ならず破つたは肺病やみの何某と云ふ此間迄役場の書記をしてゐた男と、濱にをいた小舟一艘の紛失事件だ小舟はやがて浪に乘せられて歸つたけれど人の姿はついに見へなかつた、恐らく西なる海の幽暗きを知らぬ仙境には住まふ一人が增ねた事だらう。

歳暮大賣出し

蒲團 綿類 打弓

太物 呉服

本月十五日より三十一日迄歳暮大賣出し仕り添物進呈致候に付多少に不拘御買上けの程伏て奉希候敬具

以上

京城本町一丁目郵便局前電話百四十七番

◎若林支店

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目

支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店 (電話五八番)

爲替取組先

東京	二十七ヶ所
山陽	十三ヶ所
山南海道	七十五ヶ所
北海道	二十三ヶ所
臺灣	五ヶ所
東海道	二十八ヶ所
北陸道	十ヶ所
山陰道	十三ヶ所
西海道	三ヶ所
韓國	九ヶ所
清國	一ヶ所

謹啓各位益御清穆奉慶賀候弊店儀各位の御引立を蒙り日に増し隆盛に相向ひ候段奉鳴謝候却説従來弊店こ密接の關係を有し居り候京城山口大助商店營業全部を弊店に於て引受け同所に支店を設置し従前の通り營業を繼續致し一層叮嚀確實に勉強致し華主各位に對して些の遺憾なきを期し候間何卒舊に倍し御引立の程奉希上候 草々敬具

統監府 陸軍 御用達

京城本町五丁目(電話四七番)

仁川 松尾京城支店

松尾由松

精米業 海軍御用達 屠牛業 鳥獸肉販賣 酒造業

仁川港各國居留地(電八一番)

松尾商店

拜啓初冬の候益々御清昌奉賀候偖て弊店儀松尾商店を引受け永らく各位の御厚配に預り居候處今般都合に依り従來の業務を其儘復舊以後松尾商店に於て營業相成り御用品は迅速御送達を旨こし精々廉價を以て御需に被應候間何卒弊店同様の御思召を以て御愛顧御引立の程奉希上候 敬白

京城本町五丁目

元 山口大助

米韓電氣會社

電車(線區域・賃金)改正

新年一月一日以後は從來の切符を全廢可致候に付凡て現金にて一區金五錢宛受持車掌共へ御渡被下度候

龍山線	鐘路より京仁鐵道交叉點迄 一區 / 京仁鐵道交叉點より龍山迄 一區
幹線	東大門より西大門迄 一區
麻浦線	西大門より孔德里迄 一區 / 孔德里より麻浦迄 一區
東門外線	東大門より清凉里迄 一區

一區ニ付 金五錢

既に御買求の切符は新年一月三十一日迄の内鐘路本社に於て何時にても買戻可致候若し一月一日以後御乘車賃として御使用の場合は前記一區ニ付貳枚宛申受候事

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店及出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、馬山、鏡城、平壤、大邱、開城、城津、咸興

清國出張所 安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

電話番號 營業部 一一一番 / 當用營業部 同 一一番 / 三一三番

國庫部 六一一番 / 用度係 六二一番 / 分析所 六二一番

總支配人	市原盛宏
副支配人 國庫部長	竹山太郎
副支配人 國查部長	三島純平
副支配人 營業部長	市村雄次

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 七拾貳萬圓

京城南大門通(電話四二〇)

株式會社 十八銀行 京城支店

本店 長崎市築町

支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、馬山、全州、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

一各種石炭大販賣

大ノ浦塊炭

豆田塊炭

大辻塊炭

三池粉炭

ストーブ用トシテ右三種取寄セ貯炭罷在リ御希望ニ從ヒ多少ニ拘ハラズ迅速御届ケ可申上候

鍛冶用トシテ貯炭罷在リ多少ニ係ハラズ御用ニ應シ可申候

當社一手販賣炭左之通リ

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚、本洞、大ノ浦五尺、大ノ浦三尺、筏原、滿ノ浦、芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物産合名會社

京城出張所(電話二十六番)

仁川出張所(電話六十三番)

本月十五日より三十一日まで

●下駄 ●足袋 ●靴裏

福引景品付大賣出

龍山旭橋通り

履物店 薩摩屋

電話百五十四番

活版活字鑄造 石版銅版 コロタイプ 彫刻諸印刷 諸帳簿 製本装釘

營業科目

本社 京城西署西小門內(電話三一三番)

仁川出張所 仁川港海岸埋築地(電話仁川二五五番)

東京出張所 東京市京橋區南鍋町二丁目十番地(電話新橋三九六二番)

日韓圖書印刷株式會社

福引券進呈

㊍歳暮大賣出し

○一等景品	金	露五樽
○二等景品	トランクカバン	一個四十圓
○三等景品	三越呉服券	二十圓
○四等景品	ライトシャツ	三組
○五等景品	キット皮靴	一足
○六等景品	婦人用絹張洋傘	一本
○七等景品	商人外套	一着
○八等景品	舶來手風琴	一個
○九等景品	上等折カバン	一個
○十等景品	机	一脚
○三十等景品	男持洋傘	一本
○五十等景品	中折帽子	一個
○百等景品	大手提金庫	一個

以下略之

外に副景品として弊店電話番號に當籤の御方には二枚續き白毛布一枚進呈仕候

●例年之通り來る十五日より三十日迄

●金壹圓毎に福引券一葉御進呈可仕候

●今回は特に大强勉一本も空籤無之候

●籤引一月五日新聞社員立會の上擧行

京城本町三丁目(電話百十五番)

㊍和洋雜貨商 平田商店

▲貨物本船積卸

▲龍山行其他近海運送

▲右の外艀に關する一般の事務

仁川港仲町一丁目

福島組(電話五三五番)

同 波戸場出張所(電話五四二番)

懇切こ熱心を以て訴訟其他諸般の代書依賴に應ず

明治法律學校出身

增本好三郎事務所

京城本町一丁目一番地

公債 株式

現物賣買

叮嚀、確實、安價に取扱申候間多少不拘御用命之程奉懇願候

龍山町(青木病院前)

質商 梅尾圓八商店

開店披露

弊店儀從來仁川に於て通關運送業罷在候處今般京城御得意樣各位の御勸誘に寄ひ南大門驛通りに支店開設叮嚀確實且つ極めて迅速に取扱可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉懇願候 敬白

仁川驛上

小宮山通關運送店(電話七一六番)

京城南大門外

同 支店

歳暮賣出

御進物用和洋菓子並ニ歳暮用鮭蜜柑

弊店儀旭橋通り聯合大賣出しに加盟致し御買物五拾錢毎に景品券一枚宛て進早可仕候

龍山旭橋詰

東京堂

嶄新發明 三德炬燵販賣

本炬燵は

第一德用 △僅かの炭火を以て長時間の溫熱を保つ

第二便利 △容積小にして頗る輕便

第三安全 △如何に轉倒せしむるも火氣の漏るゝ憂なし

一度御試用の上其三德の効用を御高評あらんことを希ふ

京城大和町旧司令部通

藤垣兄弟商會

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

電話十番

仁川海岸通 貨物及船客取扱店 郡回漕會(電話三九番)

京城南大門通 巴商店(電話二〇六番)

●釜山長崎門司神戸行	山東丸	十二月二十八日後三時出
●釜山門司神戸大阪行	淡路丸	十二月三十一日後三時
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行	浦汐丸	一月五日後三時出
	第一オハヨ號	一月五日後三時出
●大連、大沽行	酒田丸	一月 日後一時出
●大連行	發口丸	十二月 日後三時出
	高砂丸	十二月三十一日後二時出
●大連、秦皇島行	山東丸	一月十四日前九時出
●鎭南浦安東縣行	第一オハヨ號	十二月 日後三時出
	浦汐丸	十二月 日後三時出
●釜山出帆、元山行	弘前丸	一月二日

御注意 御乘船ノ際ハ仁川波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事